

目次

研究紀要 千葉大学教育学部

平成27年

第64巻

I. 教育科学系

- Personal Report of Communication Apprehension (PRCA-24)
を用いた質問紙調査における肯定的表現もしくは否定的表現を
含む項目への大学生の反応……………物井 尚子 1
- 中学校家庭科におけるロールプレイングの活動を取り入れた家
族学習……………萬崎 保子・久保 桂子・中山 節子 9
- 心理臨床における遊び……………笠井 孝久 19
- 教育心理学における学習の概念……………大芦 治 25
—教職課程で用いられるテキストにおける概念定義—
- 教育臨床の現場で科学の知をどう駆動するか……………磯邊 聡 35
—エビデンスとナラティブをめぐる一考察—
- 高学年期女子の友人関係における関わりの多様性と社会的発達……岩田 美保 43
—大学生女子の回想的自由記述をふまえて—
- E.H.Eriksonのアイデンティティ理論と教育(1)……………宮下 一博 49
- 「平成の大合併」に対する児童・生徒の意識と地域学習……………竹内 裕一 55
—千葉県内における実態調査から—
- 生活科における栽培の授業開発……………鈴木 隆司 69
—アクティブ・ラーニングから子どもの学びを読み解く—
- 肢体不自由教育における指導力向上の模索……………松本 優子・真城 知己 77
—教員養成段階での医療的ケアに対する意識向上を目指して—
- 熟議民主主義が道徳授業にもたらすもの……………市川 秀之 85
—問題解決的な学習に焦点を当てて—
- 科学教育活動をベースとした海外教員インターンシップが学生
にもたらす影響の分析……………吉田 恭子・野村 純・山野 芳昭・大嵩 竜午 97
サブト アシヤディアント・馬場 智子
山田 響子・飯塚 正明・板倉 嘉哉・加藤 徹也
木下 龍・小宮山伴与志・下永田修二
白川 健・杉田 克生・高木 啓・辻 耕治
鶴岡 義彦・中澤 潤・林 英子・藤田 剛志
ベヴァリー ホーン・山下 修一・大和 政秀
米田 千恵
- 幼稚園における運動遊び活動が身体能力に及ぼす効果(1)……………松寄 洋子・入澤 里子・朝井 理香・小林 直実 103
久留島太郎・安藤 温子・武藤記世子・木次 昭子
- 薬物依存のある人への保護観察処遇の留意点……………田中健太郎・羽間 京子・西 慶子 113
—ダルクとの連携に焦点をあてて—
- 児童養護施設—学校連携の現状と課題……………村松 健司・保坂 亨 123
—学校からみた視点を中心に—
- 英国義務教育最終段階の科学コース「21世紀科学」における科
学論的内容の取扱い……………佐藤 将大・鶴岡 義彦・藤田 剛志 133
- ゲーミフィケーションを活用した「学びこむ」授業の開発……………藤川 大祐 143
- 中学生の国際理解を深めるための一考察……………植木 節子・高橋 博代 151
—大学生との相互学習がもたらすもの—
- 大学生の自己表現への方略のなさを低減する話し合い活動……………樽木 靖夫・榎原健太郎 161
—解釈レベルに注目したグループ構成—
- 保育において遊びを育てることによる発達障害児の気になる行
動の変容……………細川かおり 171
—多様な子どもが在籍するクラスにおける保育実践のアク
ションリサーチ—
- 就学前算数教育プログラムの提案……………松尾 七重 179
—長さ測定について—
- ESD (Education for Sustainable Development) に関する教員
研修の現状と課題……………福島 嵐・中山 節子 187
- 教師の発問に関する学際的考察……………小山 義徳・高木 啓・安部 朋世・藤川 大祐 195
—教育学, 日本語学, 教育心理学の立場から—
- オオカナダモによる光合成でのデンプン検出実験の改善……………渡邊 りな・山下 修一 205
- 心理的競技能力におけるスポーツ選手の自己理解……………西野 明 209
- フィンランドのヘルスプロモートिंगスクールの現状とコ
ミュニティ形成への役割……………小橋 暁子・磯邊 聡・石田 祥代・砂上 史子 213
—2015年フィンランド・ヘルシンキ周辺の視察を中心として—
ホーン ベヴァリー・北島 善夫・岡田加奈子

●小学校家庭科における災害に備えた調理実習……………	古重 奈央・伊藤 葉子・鎌野 育代	229
●大規模自然災害に関わる養護教諭関連研究の動向……………	工藤 宣子・小林 央美・堀籠ちづ子・岡田加奈子	235
―支援者支援・二次受傷・教育プログラムに着目して―	入駒 一美・高橋 雅恵	
●多様な言語材を活かした国語科指導の可能性について（3）……………	森田 真吾	241
―学習材研究の一環として「自ら作る」ことの意義―		
●造形（図画工作・美術科）教育における課題追究（問題解決）型 の授業デザイン……………	佐々木達行	249
―造形表現・鑑賞の内容要素を捉えたデザイン条件の設定―		
●教育財政における公私分担構造の再構築と財政原則をめぐる論点……………	貞広 斎子	259
―教育財政学のリサーチ・アジェンダ試論―		
●創発学級を導く学級経営の方法の開発……………	蘭 千壽	265
●体育論構築のための予備的考察……………	杉山 英人	275
―基本的論点の確認―		
●小学生ののこぎりによる切削技能の発達過程……………	鶴岡佑実子・木下 龍・坂田 桂一	287
●遊びの記録表が「遊びの指導」の授業作りにもたらした影響に 関する研究……………	菅原 宏樹・真鍋 健・綿引 朝香・段木佐知子	295
―フォーカス・グループ・インタビューを通して―	鈴木 幸加・丹野 祐介・日向 登里	
●中学校における文法項目の系統化の試み……………	神谷 昇・西垣知佳子・小山 義徳	301
―文法学習表の作成とDDL学習教材への適応―		

Ⅱ. 文・社会科学系

●第一言語と第二言語における“語彙－概念リンク”の発達 そ の6……………	鈴木千絵里・杉田 克生・星野 郁佳・杉田記代子 下山 一郎・折原 俊一・横田 梓・蓑原 真美	309
●モダン・ヒーローとしてのホロマン……………	平出 昌嗣	317
―“The Hollow Men”とHeart of Darkness―		
●都市化と河川環境の変容……………	井上 孝夫	323
―前谷津川の事例から―		
●昭和10～20年代における下総院一の日本音階論……………	本多佐保美	333
●中高における政策教育基礎カリキュラムの構想……………	磯崎 育男	339
●運用力と文法力を育む英語授業……………	西垣知佳子・中條 清美・小山 義徳・神谷 昇	349
―コミュニケーション教授法とデータ駆動型学習―	安部 朋世	
●The Effectiveness of Using Drama in a First year University English Communication class……………	HORNE Beverley	357
●児童文学叢書における「日本文学」……………	佐藤 宗子	458
―伝承・古典・近代文学の体系化―		
●元結の銘について……………	加藤 敏	466

Ⅲ. 自然科学系

●放射線生体リスクにおける学習プログラム開発……………	前田 彩香・高橋あかり・杉田 克生・野村 純 加藤 徹也・高橋 博代・藤井 克則・喜多 和子 小林 芳枝・吉本 一紀	365
●パーソナルテンポと性格傾向および生体機能の関連についての 検討……………	板垣 咲紀・野崎とも子	375
●エレクトロクロミックディスプレイ作製教材のカラー化につい ての検討……………	飯塚 正明・久高 拓馬・並木 文哉	385
●栄養素の理解を深めるための食品と関連づけた題材の工夫……………	米田 千恵	389
―緑黄色野菜を対象として―		
●数概念と計算の初期指導……………	島田 和昭	393
●教員養成課程学生のための科学教育における「ものづくりの過 程」の導入……………	西村 浩隆・加藤 徹也	403
●平面幾何における非等方的等周問題の劣微分作用素を用いた考察……………	白川 健・高橋 克仁	413
●地域経済モデルに対する最適制御問題と市町村統計データを実 装した数値シミュレーション……………	白川 健	419
●能動的気流制御システムの開発……………	板倉 嘉哉・渡邊 孝輔・平野 泰博	425
●日常生活に生きる理科……………	林 英子	433
―慣性の法則の実寸大モデルによる視覚化と跳び箱運動への 活用の可能性―		

Ⅳ. 芸術系

●幼児期の造形体験が中学生に及ぼす影響Ⅳ……………	小橋 暁子・楨 英子	441
―幼児期の造形活動記録を中心に―		

研究活動状況